



## 令和7年 巳年の始まりです

新年明けましておめでとうございます。今年も本校の教育活動に対してご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

1月7日(火)に始業式を行い、3学期が始まりました。授業日数は46日間だけとなります。3学期は次のステージへの準備の時期であり、特に3年生は自分の進路を決めるときです。3年生全員が希望進路達成できるように、教職員一同頑張っております。そして、4月からは、1年生は「学校の柱」として、2年生は「学校の顔」として、さらに大江中学校を引っ張っていく存在となるように、3学期を大切な準備期間として、日々の教育活動に取り組んで参ります。

### <始業式 各学年代表の言葉>

三学年代表 吉野 悠斗

十三日間の冬休みが終わり、今日から三学期が始まります。「四十六」これは何の数字だと思えますか？この数字は今日を含めて三学期終了までの日数です。みなさんは、短いと感じますか？長いと感じますか？私はこの数字を聞いたとき、あまりの少なさに驚きと隠さず最後でした。三学期は、私達三学年にとって大江中で過ごす最後の学期であり、卒業後の進路を決定する大切な学期でもあります。そこで私は高校入試、卒業に向けて二つのことに力を入れたいと考えています。

一つ目は「最大限の準備」です。私は一、二学期、自分自身の心の弱さに負けて、受験生であるのに学習以外のことに時間を費やし、結果的に学習時間のほうが大幅に短くなってしまうしました。自分の道を自分で切り開くためにはコツコツ地道に学習を重ねること以外に近道はないと思います。三学期は一日一日目標を立てて、努力を積み重ねていきたいです。志望校も入試の日程も、それぞれ違う私たちですが、三学期は学年全体で協力して学習に取り組んでいかなければなりません。今週には入試を迎える仲間もおり、そこから三月七日の公立高校一般入試まで、それぞれの挑戦は続きます。一人ひとりが自分のこれからのための、そして、周りで頑張りを続ける仲間のためにも、最後まで粘り強く、本気で学習に取り組んでいきます。

二つ目は「残り少ない学校生活を大切に過ごすこと」です。三学期は高校入試、卒業式の準備、卒業式と目まぐるしい日々が続きます。忙しきで自分自身を見失って、あつという間に卒業式とならないように、仲間と過ごす時間を大切にしていきたいです。そのためには普段あまり話さない仲間や関わりが少なかった仲間と自分から積極的に関わっていきたく思います。また、今までお世話になった先生方に感謝の気持ちを持てたいです。あと四十六日。短いと感じる人が多々と思いますが、六日で何が出来るかと考えたほうが多々あります。自分のできる範囲で、充実した日々を過ごすことが出来ると思います。やるべきこと、やったいことが自分のためになること、自分がやりたいことは一人ひとりが心の中に持っているはずで、それを実行し、後悔せず、感謝を忘れずに過ごすことが出来る三学期にしていきます。



二学年代表 奥山 颯斗

三学期がんばることは、学年全員がしっかりと提出物を出すことと、授業中の態度を直すことです。

提出物を出すことについては、今、学年で学習ノートや英単語プリントに取り組んでいきます。しかし、提出する人は初めのうちはとても少なかったです。今のうちにこの提出する習慣をつけなければなりません。一年後には公立高校の入試制度が変わり、ウェブでの願書提出など自分の責任で行うことになると思うからです。だからこそ、提出物を出す習慣をつけていきたいです。

次は授業中の態度についてです。私たち二学年一組では、授業態度をよくしていこうと話し合っていました。これは発表している人や前で話している人が自分の意見を話しやすく授業に集中できるようにするためです。どの授業にも積極的に臨み、一つ一つの学習課題に真剣に取り組んでいきたいと思えます。

この学年、学級は良いところもたくさんあります。それはみんなが一つになって団結する力です。躍動祭や飛翔祭のようにリーダーが中心となり、一つになって活動することが出来ます。みんなで「輪」となり、この大江中をよい方向にもっていきけるように頑張りたいです。このように三学期は二つのことを重点とし、よい点をもっと伸ばしていきたいようにしていきます。



